

令和4年度

学習の手引き



古座川町立 古座中学校

()年()番

名前()

○生徒のみなさんへ

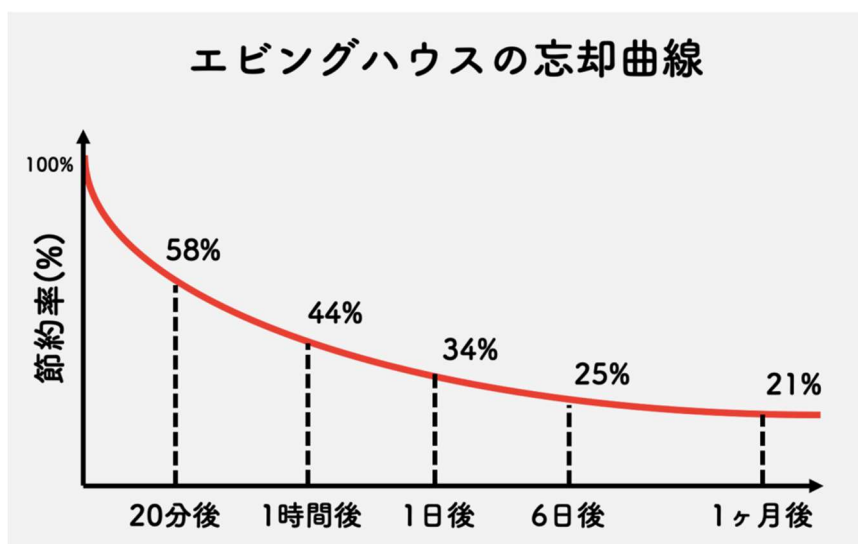
学校は、みなさんが将来社会人になるための準備をするところです。そして、そのために必要な知識や技能、思考力・判断力・表現力などを身につける場です。

勉強することで次のようなことが可能になるでしょう。

- ・自分の可能性が育ち、夢の実現につながる。
- ・考えたり、調べたり、経験したり、問題に立ち向かう気持ちやできるようになったときの喜びはこれからの頑張る力になる。
- ・社会をよりよくするために貢献できる人になる。

○なぜ家庭学習や復習が必要なのでしょう？

下のグラフを見てください。



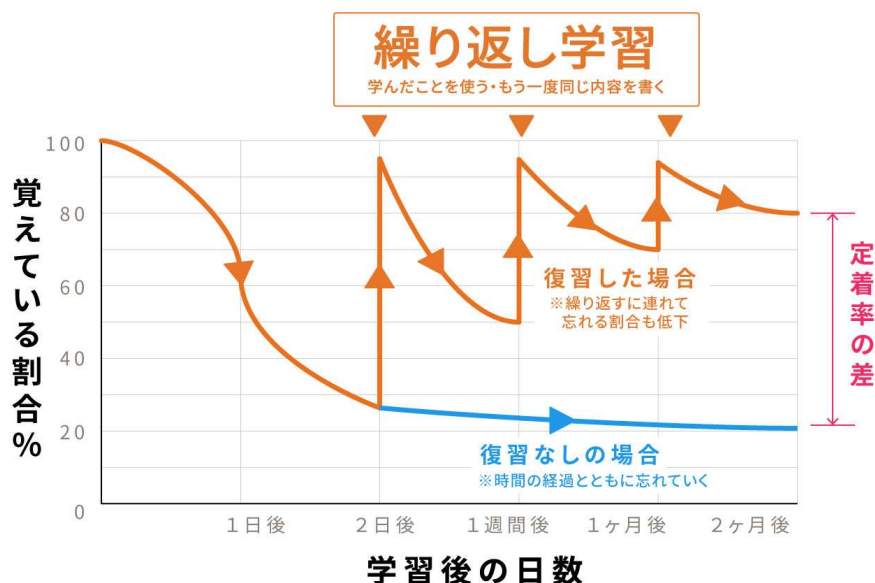
これはドイツの心理学者エビングハウスという人が発表した「忘却曲線」というものです。

彼の実験によると、記憶は20分後にはおよそ42%を忘れ、1時間後でおよそ56%、9時間後でおよそ64%を忘れてしまうそうです。その後少しゆるやかになりますが6日後にはおよそ75%を忘れてしまっているのだそうです。完璧に覚えたつもりでも、その後復習をしなければ6日後には25%しか残っていないということになります。せっかく頑張って授業を受けても、こんなに早くに忘れてしまっはなんにもなりませんよね。

しかし、学習し覚えたことを、忘れる前に繰り返し反復することで、忘れる確率は大幅に低くなることも証明されています。

次のグラフを見てください。

エビングハウスの忘却曲線 (脳の忘れるしくみ) より



このグラフからわかるように、学んだことを繰り返し勉強し直す（復習する）ことで忘れてしまう率は少なくなります。今日の授業での学習内容を明日の授業を始める前に復習しておきます。1週間前、1ヶ月前に学習した内容もあわせながら復習していきます。これを積み重ねていくと、学力にうんと差が出てくるはずです。

だから家庭学習は必要なのではないでしょうか？

そんなに復習が大事なら学校の授業でやってよ！という人もいるかも知れません。もちろん、学校の授業時間内に復習する時間や反復する時間が十分にとれば、そうしたいのです。しかし先生たちは法律で決められた内容は全て教えなければならない上に、授業時間は限られています。そんな中で生徒のみなさんに確かな学力を身につけてもらおうと思えば、家庭学習や補充学習は、なくてはならないものになってくるのです。

定期的にある中間テストや期末テストも、せっかく覚えたことをできるだけ忘れてしまわないようにするための良いチャンスです。だから「もう勉強した！」とか「これは大丈夫！」なんて言わないで、何度も何度も繰り返して勉強しましょう。そうしないと、なかなか良い結果に結びつきません。そのことを頭に置いて、テスト勉強の計画を立て、実行していきましょう。

<学力をつけるためには>

1. 生活リズムを整える

学力は毎日の地道な努力によって身につくものです。しかし生活リズムが乱れると、体調を崩したり、集中力が欠けたりして、学習意欲が低下します。今の生活習慣を見直し、生活のリズムを整えることは学力をつけるためのもととなります。

2. 授業を大切にす

学習の基本は毎日の授業です。授業の1時間は家庭学習の2～3時間分にあたります。毎日の授業を大切にする生徒の学力は必ず伸びます。

3. 家庭学習を充実させる


授業で習ったことを定着させるには家庭学習が必要です。授業で理解したり、覚えたりしたことを忘れてしまわないように家庭学習をしっかりとやりましょう。毎日決まった時間にすると習慣づけられます。慣れてきたら少しずつ家庭学習の時間を増やしていきましょう。

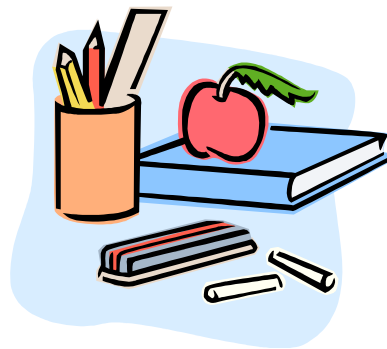
4. テスト勉強を工夫する

テストに向けた「学習計画」を立て、実行しましょう。単語カードを作ったり、「テスト勉強用ノート」に重要事項を書くなどして自分に合った学習の工夫をしましょう。また、わからないことはそのままにしておかず、先生や友達に聞きましょう。


次ページからは5教科の勉強法を先生方が紹介してくれています。参考にしてください。

国語


<p>国語を勉強すると</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で学習する「話す」「聞く」「読む」「書く」といったそれぞれの力はすべての教科の基礎となります。 ・相手の意見や考え方を理解すると自分の意見を言えるようになります。 ・相手の意見を理解し、自分の意見を言うためには様々な言葉を知り、使えるようになります。 ・情報収集能力が身につく、想像力や豊かな感性が身につくようになります。
<p>授業の受け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目当てをしっかりとつかもう。 ・先生の話や友達の意見をよく聞き集中して授業を受けよう。 ・自分で考える場面では間違いを怖がらずに自分の意見を書こう。 ・グループ学習ではみんなで協力しお互いの考えを深めあおう。 ・発表する時は大きな声でゆっくりと発表しよう。 ・分からない言葉や漢字はすぐに自分で調べよう。
<p>家庭学習</p>	<p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を音読しよう。 ・新出漢字や新しい語句を辞書で調べよう。 <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りをしよう。 <p>(教科書の音読・ワークの見直し・漢字の反復練習)</p> <p>プリントなど補充学習分の希望があればいくらでもこたえます。</p>
<p>定期テスト前の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使ったプリントやワークをしっかりと見直ししよう。 ・教科書を何度も読んだり、漢字は何度も書いて覚えよう。 ・自分で問題を作成し、やってみよう。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の力は即効で身につくものでもありません。授業のほかにも読書・新聞の購読・デイリーライフの記入などこつこつとやっいていこう。



社会


<p>社会を勉強すると</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域から世界まで、地名や位置関係、地域の特色、生活の様子などを知ること、社会に出たときに生かすことができる。 ・過去（現在とは異なる社会や人々の在り方）を学ぶことで、現在の私たちが生きる社会をとらえ直す事ができる。 ・私たちにどのような権利や義務を持つか、政治や経済の仕組みがどうなっているのかといった国民としての基本的な知識を身につけることができる。 ・テレビニュースや新聞記事がよくわかるようになる。
<p>授業の受け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の学習の課題をしっかりとつかむ。 ・授業でのわからないことや疑問に思ったことは、授業中や授業後の空き時間を利用して質問する。 ・間違いや文章表現を気にせず、自分の考えを述べる、書く。 ・グループ学習や学び合う学習は仲間と協力して、積極的に。 ・ワークシート・ノートを工夫してていねいにまとめ、板書以外のことでも大事だと思うことはメモする。
<p>家庭学習</p>	<p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を音読し、疑問点やわからない語句をチェックする。 <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。 ・その日に学習した用語や地名、人名、出来事の名称などを確認し、色分けや図式化などしてまとめる。 ・問題集やワークなどを使って、基礎的・基本的な事柄をおさえておく。 <p>宿題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークは、自分の力でやってみる。分からないところは教科書やファイルなどを見てやってみる。その後、答え合わせをする。（提出期日を守る。）
<p>定期テスト前の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を音読する。 ・授業で使ったプリントやノートなどを確認する。 ・ワーク類はくり返し取り組む。

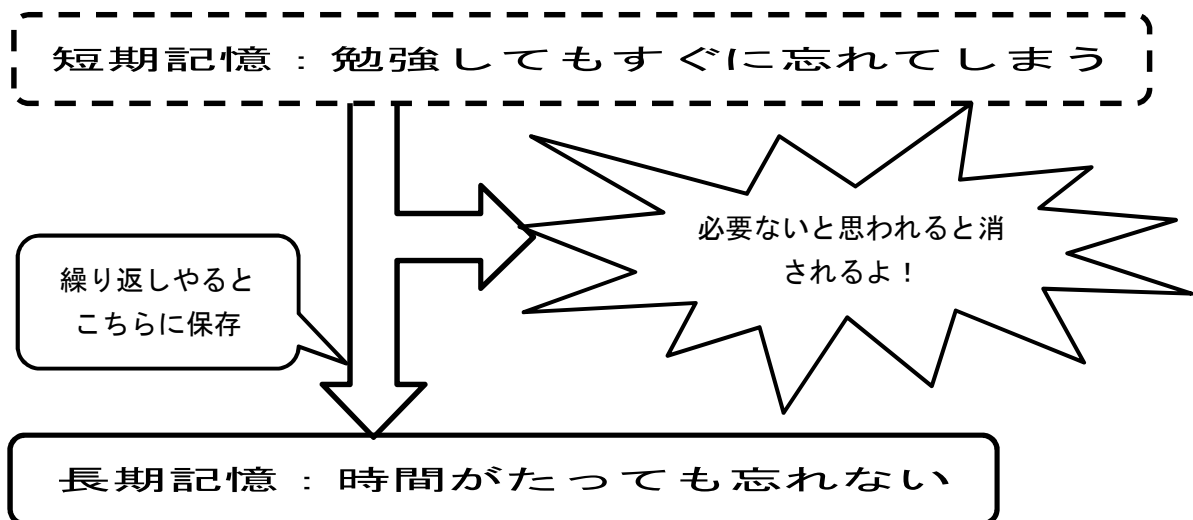
数学

<p>数学を勉強すると</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を論理的に考え、処理していく力がつく。 ・日常の生活に役立つ計算が身につく。 ・様々な解決方法を考える力が身につく。 ・自分の考えを筋道を立てて説明する力が身につく。 ・ものを立体的に見ることができる感覚が身につく。 ・情報を処理する能力が身につく。
<p>授業の受け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席。授業前に準備し忘れ物をしないようにしましょう。 ・先生の話や友達の発表はしっかり聞きましょう。 ・板書を書き写すだけではなく、大切だと思えるところには色を付けたり、線を引くなどの工夫をしよう。(ただし、速く書き写すことも大切です。板書以外のことをメモするのも工夫の一つです) ・わからないところは先生に質問したり、お互いに教えあって解決しましょう。 ・別の解き方がないかを考えるのも大切です。 ・与えられた問題を早く終えた人は、教科書の補充の問題やワークなどの類似問題に取り組んだり、他の人にアドバイスをするのもいいです。 ・学び合い学習の時は、積極的に教えたり、聞いたりしましょう。
<p>家庭学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学は毎日の積み重ねが大事です。毎日少しの時間でもいいのでコツコツ取り組みましょう。 ・授業ごとに宿題が出ますので、忘れずに取り組みましょう。 ・何を学習したのかを振り返る。特に授業中にわからなかったところや間違えたところは、できるまで何度もやり直しましょう。次の日、又は何日かおいて復習するのはさらに効果的です。 ・宿題以外にもワークや問題集などをやりましょう。 ・「ながら」勉強は学習効果が少ないです。
<p>定期テスト前の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学んだ内容を教科書やノート、プリントで何度も確認する。 ・テスト範囲のワークの問題は、必ずやりきる。何度も繰り返しやるのがいいです。




理科

<p>理科を勉強すると</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立つ知識が身につく。 ・生活の中から問題を見つけ、予想を立て、考えていく力が身につく。 ・疑問を他の人と協力しながら解決していく力が身につく。 ・事実をしっかりととらえ、物事を正しく判断する力が身につく。 ・実験器具や薬品などの取り扱い方が身につく。 ・自然の仕組みや不思議さ、素晴らしさを知ることができる。 ・自然と人間の関わりについて考え、知ることができる。
<p>授業の受け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のめあてをしっかりとつかむ。 ・予想を立てた後に、実験にのぞむ。 ・実験だけを楽しまない。 ・実験結果からわかることを考える。 ・実験や観察は、細かい変化にも注意し、記録をとる。 ・黒板に書いたことは、ノートにていねいな字で書き写す。 ・積極的に発表し、わからないことは質問して理解しておく。
<p>家庭学習</p>	<p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験をおこなう時は教科書で順番・方法を確認する。 <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日に学習した理科学用語は、正しい漢字で書けるようにする。 ・用語を自分の言葉やイラストで説明できるようにする。
<p>定期テスト前の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科学用語を繰り返し書いて覚える。 ・公式を覚えるまで書く。 ・ワーク、ノートの問題は答えをかくして何度もやってみる。 ・間違えた用語はわざと大きく書いてみる。



英語

<p>英語を勉強すると</p> 	<p>今や英語は世界の共通語、世界中でやりとりされるメールの70%以上は英語で書かれているそうです。英語を通して積極的にコミュニケーションを図る力を身につけましょう。外国の文化や人々の生活習慣を知り、お互いの文化を尊重し合う気持ちを深めましょう。身近なところで英語が使われていることにも気付き、生活する上での視野も広がります。自分の好きな音楽や映画を英語で楽しめるようになれば、さらに世界が広がるでしょう。外国語を学ぶことで日本語や日本の習慣、文化を見直すきっかけにもなります。</p>
<p>授業の受け方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読するときは大きな声でしっかりと行う。 ・CDや教師の発音、リズムを集中して聴き、まねをしながら練習する。英語らしい発音を心がける。 ・ペアやグループなど、様々な学習活動に積極的に参加する。 ・間違いをおそれず、表現し、発表する。 ・基本文や表現、単語をしっかりと覚える。 ・こまめに辞書をひく。 ・わからない事は質問して必ず解決する。
<p>家庭学習</p>	<p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語の確認をする。教科書を音読する。 <p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を10回以上音読する。 ・本文を音読しながらノートに写す。 ・学習した単語、例文などを音読しながら書いて覚える。 ・ワークで間違ったところはどのようにして間違ったのかをよく考えながらくり返しやる。 ・宿題は学習したその日のうちにする。 ・授業で使ったプリント、ノートを整理し、授業を振り返る。 ・英語は使っていくことで身につきます。自主学習などで新しい表現や単語を使って自分のことや身の周りのことをどんどん表現してみましょう。
<p>定期テスト前の学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやノートをもう一度確かめる。 ・ワークは繰り返しやっておく。 ・単語・熟語・基本文は確実に覚える。 ・本文は覚えるまで音読し、書いて確認する。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなもの（例えば音楽・映画・アニメなど）を英語で楽しんでみましょう。

自主学習の仕方

「どんなことを、どんな風に勉強するのか」を自分で考えて取り組むのが、自主学習です。この「自分で考えて取り組む」という経験は、皆さんにとって大変意義がある行動です。これからみなさんの生活の中では、自分で考え、自分で判断し行動することが必要になるからです。もちろん知識や技能を身に付ける上でも有意義なことです。学習例を下に紹介します。その日の授業内容を振り返り復習できたなら、学習の定着に効果的です。参考にしてください。

4月22日(金)英語のまとめ

英語の語順は、主語 (be)動詞 その他 ！

例えば、「私はMeg・ブラウンです。」と言うときは、

I am Meg Brown.

主語 be 動詞 その他

「私は日本食が好きです。」と言うときは、

I like Japanese food. と表す！

主語 動詞 その他

単語を6回ずつ書きます。

call call call call call call

…を~と呼ぶ

often often often often often often

しばしば、よく

from from from from from from

…出身の

new new new new new new

新しい

drink drink drink drink drink drink

…を飲む

【振り返り】

授業で学習したことをその日のうちに復習して、実際に使えるようにしていきたいです。今日覚えた単語は、明日もう一度自分でテストしてみたいです。

